

解 答

① (1) $\frac{1}{4} \frac{3}{4}$

(2) $2 \frac{4}{5}$

② (1) 281番目

(2) 16個

(3) 25個

③ (1) 4

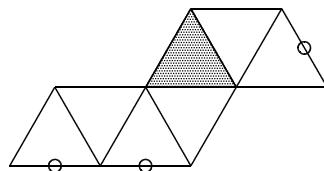
(2) 72歳くらい

④ $6 \frac{6}{7} \text{ km}$

⑤ 42 cm^2

⑥ 15 cm^2

⑦ 右図



解 説

② (1) $\frac{1}{2}/\frac{1}{3}, \frac{2}{3}/\frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{3}{4}/\dots\dots$

1組 2組 3組

のように組に分けて考えます。(分母-1)が組数と組の中の分数の個数で、分子が組の中での順番を表しています。 $\frac{5}{25}$ は、(25-1)=24組の5番目の分数ですから、

$(1+2+\dots+23)+5=281$ (番目)

(2) 分母が3の倍数の組に1個ずつあります。

$48 \div 3 = 16$ (個)

(3) 約分すると $\frac{1}{2}$ になる分数が一番多くなります。

$50 \div 2 = 25$ (個)

③ (1) $(40 - 28) \div (6 - 3) = 4$ (歳)

(2) $(14 - 3) \times 4 = 44$ (歳)

$28 + 44 = 72$ (歳)

④ $1 \frac{1}{2} \div \left(1 - \frac{5}{8}\right) = 4$ (km)休憩所から公園まで

$4 \div \left(1 - \frac{5}{12}\right) = 6 \frac{6}{7}$ (km)学校から公園まで

⑤ $169 = 13 \times 13 \rightarrow$ 大きい正方形の1辺の長さは13cm (=⑦の横の長さ)

$78 \div 13 = 6$ (cm)⑦のたての長さ

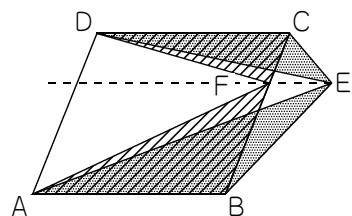
$13 - 6 = 7$ (cm)⑦の1辺の長さ (=⑦の横の長さ)

$13 - 7 = 6$ (cm)⑦のたての長さ

$6 \times 7 = 42$ (cm^2)⑦の面積

⑥ 右の図のように移動して考えると、2つの三角形ABEと三角形CDFの面積の和は、三角形ABFと三角形CDFの面積の和に等しくなり、平行四辺形ABCDの面積の半分になります。

$6 \times 5 \div 2 = 15$ (cm^2)



⑦ 右の図のように、面⑦と頂点で接している面で、向いにある辺につけければよいです。

